



インタビュー
Interview

輝いている人 日本代表として 世界大会でメダルを獲得したい

第18回世界女子・ジュニアペタンク選手権大会に出場した

守屋 帆乃佳さん (清音小6年)

昨年11月にタイで開催された第18回世界女子・ジュニアペタンク選手権大会のジュニア部門に日本代表メンバーとして出場したのが守屋帆乃佳さんだ。

ペタンクは、目標玉にボールを投げ合い、相手より近づけて得点を競うスポーツ。守屋さんは、クラブチームに所属していた兄の背中を追うように、小学2年生のときに同チームに入会したそう。

5年生のときに出場した日本代表選考会で、相手のボールをはじき出すティールが決まらず、惜しくも代表入りを逃した。この苦い経験をきっかけに、毎日、数十分ティールの練習に打ち込むようになり、課題克服に努めたという。

昨年8月に再挑戦した代表選考会では、シングルで15人中3位に入るなど

功績を収め、日本代表メンバーの1人として世界大会の切符を獲得した。

世界大会では、ドイツやスイスなど5カ国とトリブルスで対戦。1勝4敗で入賞とはならなかったが、ドイツ戦でティールを決めることができたそう。「毎日練習に取り組んだので、自信をもってプレーすることができた。大事な場面で練習の成果を発揮できてよかったです」と笑顔で大会を振り返った。

今後の目標を尋ねると、「技術だけでなく、精神面でも強くなりたい。世界大会で、必ずメダルを獲得したいです」とまっすぐなまなざしを教えた。自己分析をして、強くなるための努力を欠かさない守屋さん。2年後に行われる世界大会の舞台でも、活躍してくれるに違いない。

歓喜の歌 高らかに

『第九』演奏会

12月24日、くらしき作陽大学・作陽短期大学・総社市包括協定コンサートが市民会館で開催されました。

演奏されたのは、ベートーヴェン作曲『交響曲第9番ニ短調』など3曲。小学生を含む市民を中心に構成された総社第九合唱団と、くらしき作陽大学管弦楽団の団員ら約170人による美しいハーモニーに、約800人の観客は酔いしれ、盛大な拍手を送っていました。



観客も一緒に歌った第4楽章の『歓喜に寄す』がホールいっぱいに響き渡った



●ミニフォト

新年を祝う初日の出



ご来光が顔を出す

新年を迎えるにあたり、元旦福山登山が行われました。頂上では、甘酒などが振る舞われたほか、千支のたつが描かれた記念絵馬が配られました。参加者は、初日の出に、今年一年の無病息災を祈りました。

良い年になりますように



手際よく土台にこもを巻きつける

明るい新年を願って、昭和公民館日美分館の運営委員が門松を制作。12月22日から1月12日まで、市役所正面玄関に設置されました。訪れた人は、大きな門松と一緒に写真を撮るなどし、新年の訪れを感じていました。

五穀豊穡を祝う伝統行事



紅白の餅を担いで駆け降りる

12月27日、赤米の収穫を祝う霜月祭が新本の新庄と本庄の国司神社で行われました。新庄国司神社では、新本小学校児童2人が伝統行事「かけりもち」に参加。フクラシの木にくくられた餅を担いで、神社と神田跡を往復しました。

マラソンがんばれ!



ランナーの力になりますように

1月5日、きよね認定こども園の園児らがそうじや吉備路マラソンのランナーに向けて、同園で応援イラストを制作しました。園児らが心を込めて描いた作品は、大会当日の2月25日、市スポーツセンターに展示されます。

水野さん 100歳おめでとう



家族に祝福される水野さん

水野三重子さん(見延)が1月5日に満100歳の誕生日を迎えられ、9日に市から記念品が贈られました。長年、男女共同参画社会の実現に尽力され、数々の要職を担ってきた水野さん。よく歩くことが長寿の秘けつだそうです。

福田さん 100歳おめでとう



家族に祝福される福田さん

福田行恵さん(西阿曾)が1月2日に満100歳の誕生日を迎えられ、10日に市から記念品が贈られました。花の世話が好きで、庭の手入れを楽しんでいた福田さん。気の向くままに行動することが長寿の秘けつだそうです。